



# とよしん 海外貿易投資ニュース

豊田信用金庫  
国際業務部

第1号

発行日：2011.05.25

## 豊田信用金庫

### ～地域経済活性化サポートデスク・アジア部会を設置～

昨年12月に金融庁から「金融資本市場及び金融産業の活性化等のためのアクションプラン」が公表され、金融の2つの役割として、(1)企業のバックアップ役としてそのサポートを行うこと、(2)金融自身が成長産業として経済をリードすること、が掲げられました。当金庫は、この役割に応え、地域経済活性化により貢献していくことを目的に、「地域経済活性化サポートデスク」を新設しました。このうち、アジアビジネスへのサポートを通じて、取引先のビジネスチャンスの獲得・拡大を支援するため、新たに「アジア部会」を設置しました。また、5月20日付で、組織改革を行い、地域企業の海外進出支援の一段の強化を目的に国際業務部を新設しました。

当金庫では、アジア部会を設置する以前から、お客様からの多様な海外案件のお手伝いをさせていただいておりますが、お客様のニーズに対して、より強力な支援ができるよう、関係部署でタッグを組み国内外に亘る総合金融サービスを目指してまいります。

これから海外進出をご検討されている方、輸出入の開始をご検討されている方等は、是非お取引店までご用命ください。本部より専門担当者が貴社へ伺い、真摯に対応させていただきます。

<発行にあたって>

これらの趣旨を踏まえて、限られた紙面ではありますが、今後定期的にその時点でのお客様の海外進出・貿易に関するピクセス等を取り上げお知らせしていきたいと思っております。

(国際業務部 国際業務支援課 TEL0565-36-1381)

## II. アジアと日本をつなぐ金融

### (1)アジアの主たる市場(メイン・マーケット)たる日本市場の実現

- 》総合的な取引所(証券・金融・商品)創設を促す制度・施策
- 》外国企業等による英文開示の範囲拡大等の制度整備
- 》企業における会計実務充実のための会計専門家の活用等の促進
- 》株式等のプロットレードの円滑化
- 》公募増資に関連した不正な取引への対応
- 》クロスボーダー取引に係る税制の見直し等
- 》会計基準の国際的な収れん(コンバージェンス)への対応等
- 》国際的な金融規制改革への積極的な対応
- 》クロスボーダー取引に対する監視の強化

### (2)我が国金融機関のアジア域内での活動拡大

- 》アジア諸国の金融・資本市場に関する政策協調の推進
- 》金融機関による中堅・中小企業のアジア地域等への進出支援体制の整備・強化
- 》保険会社による海外進出の障壁となる規制の見直し

金融庁：金融資本市場及び金融産業の活性化等のためのアクションプラン～新成長戦略の実現に向けて～

## 「日中ものづくり商談会@上海2011(愛知県共催枠)」の 出展募集を行いました

中国が、世界の生産拠点の核として存在感を強め、また、購買力も増す中で、巨大な市場としても注目すべき存在となるなか、愛知県では、この中国市場開拓を希望する県内企業の海外展開支援を目的として、来る9月上海で行われる「日中ものづくり商談会@上海2011」愛知県共催枠を設け、商談会・ブース出展を希望する企業を募集しました。

## 日中ものづくり商談会@上海2011



## 中国での調達と販路拡大に!

そのほかに、3月・4月・5月に次のセミナー等をご案内させていただきました。

(出典：NC network China)

セミナー等名称	開催地	主催者
中国内陸部の日用品・雑貨市場開拓セミナー	名古屋	ジェトロ
中国華南地区ビジネスセミナー	名古屋	ジェトロ
寧波・名古屋環境・省エネ・自動車部品技術交流会	寧波	メッセナゴヤ(愛知県)
山東省自動車部品産業説明会	名古屋	東海日中貿易センター(当庫後援)
常州国家高新技术産業区への誘致(自動車・省エネ・電子・バイオ・医薬・化学)	名古屋	東海日中貿易センター
広州南沙開発区自動車、自動車部品産業懇談会	名古屋	東海日中貿易センター(信金中金)
2011 米国イリノイ州投資セミナー	名古屋	米国イリノイ州政府駐日事務所
「地域力宣言2011in 上海」出展募集	上海	全国商工会連合会
中国への初めての海外展開マーケティングセミナー	名古屋	中小企業基盤整備機構、ジェトロ
貿易投資相談会(個別相談)	名古屋	信金中央金庫

## タイの工業団地への進出状況について

最近、中国国内における人件費を初めとする各種コストの上昇などを背景とし、生産拠点展開の見直しの動きが強まる中、あらためてタイが目立っており、タイへの進出にかかる照会が増えている状況です。今回は、タイ国内での進出地域の選定にあたって、重要なポイントとなる(1)日系企業の進出傾向と、(2)投資奨励ゾーンについて解説します。

### 1. 進出日系企業の傾向

タイに進出する日系企業のうち、自動車やバイクなどの輸送機器関連企業は、バンコクの東から南にかけた地域に多く進出する傾向があります。これは、日系のバイク、自動車産業の多くが、進出にあたり、部品輸入に都合の良い沿海部近くを選んだこと、またタイ政府自体も、特にチョンブリ県からラヨン県にかけてのイースタンシーボード地域における自動車産業育成に力を入れてきたことが挙げられます。

また一方、電子関係はバンコクの北、アユダヤ県方面に多く進出しています。これは、同地域はタイ第2の都市であるアユダヤを擁し、エンジニアなどの人材が比較的豊富であったためと考えられます。それぞれの地域における、主要な工業団地と進出企業は図表1のとおりです。

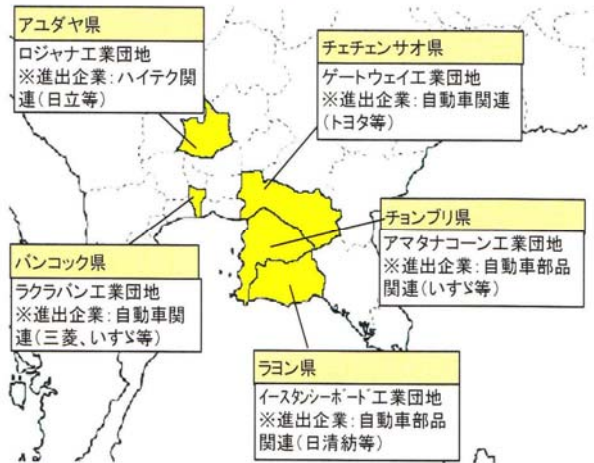
### 2. 税制面でのメリット(投資奨励ゾーン)

タイにおいては、外国企業のタイへの投資を奨励、促進するとともに、産業の地方分散、地域間の所得格差を解消するという目的のもと、投資奨励ゾーン制が導入されています。これは、タイ全土を3つのゾーンに分け、首都バンコクから離れるに従い、進出企業に税制面などのメリットを厚く与えるものです。具体的な制度内容は、図表2のとおりです。

なお、タイの場合、ASEAN諸国の中でも比較的道路網が充実しているため、バンコクから多少離れても、物流面での支障は比較的少ないと言われています。しかしその反面、人材面に関してみると、特に技術者、管理職などはプライドが高く、首都圏から離れるのを嫌がる傾向があるため、ゾーン3に進出した企業ではそれら技能職、管理職の確保で苦労しているようです。

私ども信金中央金庫では昨年、タイのトップバンクである「バンコック銀行」と業務提携し、信用金庫取引先のお客様の進出を具体的にサポートする体制を構築しました。今後、これらの具体的な情報がお知りになりたい場合や、現地で日本語での金融サービスを希望される場合には、お取引信用金庫を通じてお問合せください。(備考:信金中央金庫 貿易投資相談ニュース vol.191より転載)

図表1:工業団地と主要進出企業



(備考)アセアン HP 等より作成

図表2:投資奨励ゾーンと特典内容

ゾーン	法人所得税	機械輸入税
第1ゾーン バンコク首都圏6県	工業団地、工業地域(※1)等に立地する場合のみ3年間免税	原則 税率10%以上のものにつき50%免税
第2ゾーン 首都圏周辺等12県	工業団地等に立地する場合5年間免税。その他地域に立地する場合3年間免税	同上
第3ゾーン その他地域58県 (1)うち36県	全ての地域で①8年間免税。立地場所により、②免税期間終了後5年間は50%減税、③輸送費、電気代、水道代の2倍までを控除、④減価償却やインフラ設置費等の25%を控除の恩典がある(※2)。	免税
(2) 特別地域 22県	全て地域で①、②、③、④の恩典を受けることができる。	免税

※1 工業団地はタイ工業団地公社の管理下にあるもの、工業地域は私立の団地でBOIの認可を受けたものを指す。

※2 工業団地等に立地する場合は②・③、その他地域に立地する場合は④の恩典を受けることができる。

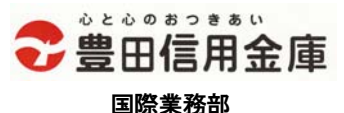
※3 重要対象業種の場合、免税による受益は投資金額の70%が上限(備考)BOI資料より作成

## 貿易用語

### 「インコタームズ(INCOTERMS) 2010」

インコタームズ(INCOTERMS 正式名称は“International Rules for the Interpretations of Trade Terms”(「貿易取引条件の解釈に関する国際規則」)とは、各国の商習慣の違いによって発生する取引上の誤解、紛争、訴訟を防止する為に、国際商業会議所(ICC=International Chamber of Commerce)によって1936年に作成された国際規則の名称です。)。インコタームズ2010は、以前のインコタームズ2000を改正し、2011年1月1日に発効されました。以前のインコタームズ2000から貿易条件が改正されています。主な貿易条件は次のとおりです。

DAT(Delivered At Terminal ターミナル持込渡し)、DAP(Delivered At Place 仕向地持込渡し)、FOB(Free On Board 本船甲板渡し)、CFR(C&F Cost and Freight 運賃込み)、CIF(Cost, Insurance and Freight 運賃・保険料込み)



〒471-8601  
愛知県豊田市元城町1-48  
電話 0565-36-1381  
FAX 0565-36-1213  
URL <http://www.toyoshin.co.jp>